

成長期スポーツ障害検診について

➤2012年度オフシーズンから本事業は開始

成長期軟式野球選手（小学生、中学生）を対象とし（毎年300～400人、コロナ禍を除く）成長期スポーツ障害（野球肩、野球肘、腰椎分離症、オスグッドシュラッター病）のスクリーニングを行っている

①各専門医の整形外科医が、超音波を用いて野球肘（上腕骨小頭離断性骨軟骨炎、上腕骨内上顆裂離骨折）、オスグッドシュラッター病のスクリーニング検査を行い、野球肩、腰椎分離症は理学検査を行いスポーツ障害の早期発見に努めている

②スポーツ障害が疑われた選手に対しては、医療機関の二次検診受診指導を行っている。選手のコンディションを評価し、個々の体の状態に応じたトレーニング指導、ストレッチ指導も選手に行っている

③また野球指導者、保護者に対し検診結果をフィードバックするとともにスポーツ障害、その予防について啓発している

④群馬スポーツリハビリテーション研究会の理学療法士さんの協力のもと、ストレッチ指導を行っている

群馬県軟式野球選手を対象にした成長期スポーツ障害検診 群馬県高校野球投手メディカルチェック

群馬大学大学院医学系研究科整形外科
筑田 博隆
群馬大学大学院保健学研究科リハビリテーション講座
田鹿 毅
群馬大学医学附属病院整形外科
設案 仁

成長期スポーツ障害検診（H25年2月～開始）



肘関節検査



肘関節超音波検査



肩関節検査



腰椎分離症検査



オスグッド-シュラッター病
検診



股関節検診



ストレッチ指導



検診結果説明
二次検診受診指導

野球肩（リトルリーグショルダー）

上腕骨近位骨端線障害



運動部の健康・日本協会

群馬県高校野球投手メディカルチェック

対象：群馬県内の高等学校（含高専）67校の野球部投手各校2名

➤医師のメディカルチェック
（問診、肩・肘エコー、上・下肢関節可動域検査、筋力測定）

➤医師のチェック後に指導者、選手にチェック結果説明を実施

➤理学療法士の2名が担当し、メディカルチェックを参考にして、選手個別に運動指導を実施

群馬県高校野球投手メディカルチェックの概要

問診



超音波による肘関節検査



超音波による肘関節内側副韧带評価



選手、指導者へのメディカルチェック結果報告1



選手、指導者へのメディカルチェック結果報告2



理学療法士による指導1



理学療法士による指導2



理学療法士による指導3

